

視 察 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 5 月 2 6 日

坂井市議会

議 長 佐 藤 寛 治 殿

会 派 名 政友会

報 告 者 川 畑 孝 治

1. 日 時 令和 7 年 4 月 1 5 日（火）～令和 7 年 4 月 1 6 日（水）
2. 視察研修先
 - (1) 福岡県古賀市役所
福岡県古賀市駅東 1 - 1 - 1
 - (2) 古賀市青柳児童センター・教育支援センター
福岡県古賀市青柳町 8 0 1 番地
 - (3) 快生館
福岡県古賀市薬王寺 9 5
3. 視察研修内容
 - (1) 古賀市立青柳児童センター・教育支援センター視察
 - (2) 職員の働き方改革についてのレクチャー
4. 参加者 川畑孝治、伊藤宏実
(政新さかい辻人志議員、創政会佐藤寛治議員)
5. 内容詳細
 - (1) 古賀市立青柳児童センター・教育支援センター視察 (15 日)
古賀市青柳児童センターは、0 歳から 18 歳までの子どもが自由に遊べる施設であり、併設している教育支援センター（あすなろ教室）は小中学生で学校へ行くことのできない子どもの支援を行っている施設であり、それぞれの活動を視察した。
 - (2) 職員の働き方改革についてのレクチャー
古賀市の歴史ある温泉地、薬王寺温泉の温泉旅館「快生館」をワークスペースとして改装した施設で、古賀市長田辺一城氏から直接、古賀市が行っている職員の働き方改革についてレクチャーを受けた。

6. 所見・感想等

(1) 伊藤宏実

古賀市が取り組んでいる児童センター及び教育支援センターについて視察しました。いわゆる「子供の居場所」づくりの取り組みですが、古賀市では児童センター(居場所)を市内に3カ所設置し、乳幼児から小学生まで幅広い年代の子供たちが学校以外の場所で安心して過ごせる環境を整備しています。専門の職員を配置し、施設面でも大変充実しており、先進的な取り組みとして大変参考になりました。また、教育支援センター『あすなろ教室』は、様々な事情で不登校となっている児童・生徒の自立支援を行っている専門の施設でした。専任の指導員が配置され、環境面ではセンター敷地内に畑があり、また座学だけでなく様々な体験を行うカリキュラムの設定など、徹底して子供の立場にたって教育支援している状況が印象的でした。

川畑孝治

古賀市立青柳児童センター・教育支援センターは駅周辺の高層マンション群から離れた、山沿いの自然豊かな環境にあった。

施設に入ると、高い天井と明るい室内で、小さな子どもでも安全に遊べる施設となっており、子ども達が好きそうな隠れ家のような穴があり、当日来ていた子どもたちが実際に遊んでいたネットの遊具でも冒険心をくすぐる施設となっていた。奥には畳びきの部屋があり親子で絵本を見ることができるようになっていた。

また、キッチンの設備もあり調理実習も行っているとの事で、子どもたちの色々な要望も満たすことのできる施設だと感じた。

教育支援センター(あすなろ教室)は、扉で区切ってあり、専門の指導員が落ち着いて子供たちに寄り添い、教育支援や敷地内の農園を活用し野菜作りなどを通して、学校に戻れるように活動をしていた。

また、定期的に学校と連携して、教育支援センター(あすなろ教室)に出席した日を、学校の出席と同じようにしていたのは良い取り組みと感じた。

(2) 伊藤宏実

古賀市の市長である田辺市長が取り組んできた様々な「市役所改革」を直接お聞きする機会をいただきました。いわゆる、『お役所仕事』から脱皮する取り組みは多岐にわたり、DXやITを駆使しつつ既成の概念にとらわれない仕事の仕方に挑戦してきた興味深いお話でした。

結果、男性の育休取得が100%に達したり、ペーパーレスの徹底により事務室がきれいになったり、フレキシブルな勤務体制に変わったり等々、市役所とは思えないような職場に変わっていったということです。また、そのことは市民にも好感をもって受け入れられ、ついに「窓口時間の縮小」に繋がっています。

それは、柔軟な発想と根気よく続けること、そういったトップの姿勢が市全体のアイデンティティとして根付いてきた結果だと感じました。

本当に素晴らしい取り組みで、大いに感心すると同時に、本市においても、そのような取り組みが始まってほしいと強く感じた視察でした。

川畑孝治

古賀市の市街地から山間部に向かい、温泉施設をワークスとして改修した「快生館」にて、田辺市長から説明を受けた。

「快生館」は 1 階に受付事務所・コワーキングスペース、2 階にスモールオフィス・薬王寺温泉「鹿の湯」3 階にはフリースペース・テラスがあり、他に宿泊フロアがあり、宿泊も可能な施設となっていた。

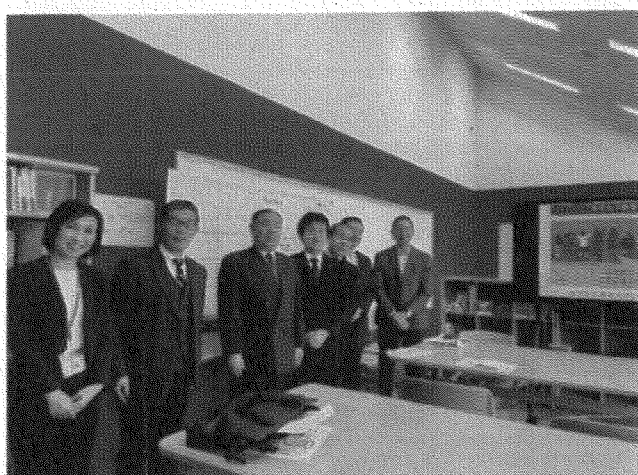
視察当日も数名の人が、コワーキングスペースやフリースペースを使っていた。職員の働き方改革について古賀市では、DX や IT・SNS を活用して取り組みを行ってきた。特に印象に残ったのは、全庁での窓口の時間短縮で月曜日から金曜日まで午前 9 時から午後 4 時までとされていた、時間短縮を行うにあたり、すべての部局で協議し、取り組みの前にはコンビニでの、住民票などの発行手数料を 10 円にして、住民に利用を促進し、多いときは 6 割の証明書がコンビニにて発行したとの事で、思い切った取り組みが住民理解につながったように感じた。

個人的には、金曜日は時間延長で企業などで働く人に対する行政サービスを行い、他の日は時間短縮に取り組むことは良いと感じた。

7. 添付書類



▲古賀市役所にて



▲教育支援センターにて



▲田辺市長によるレクチャー